



■活動日：2026年2月28日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 12名

- ・今回の活動では、きしわだ里山まつり準備、果樹の消毒、栗の木剪定、巣箱確認等を行いました。
- ・竹ランタン・竹馬・輪投げ台作成や、お絵描き、工作などの祭りの事前準備は無事終わりました。後は当日の天気が良くて沢山の来場者が来ることを祈るだけ。
- ・前回電池が無くて動かなかった噴霧器は、単3・単1 アダプターで噴霧器が動いて果樹消毒が出来ました。
- ・栗の木の剪定は、真上に向かって伸び過ぎていた大枝を切り落としました。これで収穫がし易くなるし、ヤマモモに日が良く当たって収穫量が増える？はず。
- ・フクロウが巣箱の点検に来ている様子が記録されています。今年もヒナを育ててくれるのでしょうか？ムササビは、あちこち動き回っていてフクロウの巣箱の近くにも来ていました。

■次回の活動

- ・次回（3月8日（日））は、「きしわだ里山まつり」と、巣箱確認を予定しています。

きしわだ里山まつりの準備・消毒



左) 竹馬は、4組あります。 中と右) 竹ランタンは、穴を空け紐を通して吊り下げられるようにしました。輪投げの輪は、ササを丸くしてビニールテープで止めました。仕上がりにバラつきがありますが、運不運も遊びのうち。



左) 輪投げの標的は9ピンあります。 中) 投げてみるとビックリするぐらい難しい。投的ラインは、おそらく幼児は50cm、小学生低学年70cm、それ以上は1mにしないとゲームにならないかもしれません。 右) 果樹の消毒。



## フクロウ・ムササビ



左) フクロウの巣箱の巣穴から中を覗きもむフクロウ (赤丸)。 中) フクロウの巣箱の横の木にムササビ (赤丸)  
 右) 雪の日に、巣箱から外を見ているムササビ。

## 栗の木の剪定



左) 育ち過ぎた栗の大枝を剪定しました。 中左) 木に引っかかった枝も引きずり出して坂の下まで運びます。  
 中右) 大きな枝は二人がかりでないと運べません。 右) 枝は解体して薪用と炊きつけ用に分けて積上げました。

## 活動頂いた 13名の皆さん



活動お疲れさまでした。

## シイタケが沢山取れました



左) 全員で取る記念写真を撮り忘れました。代わりに食事風景を取りました。  
 (午前で帰宅の吉田さん、原さん、加藤さんゴメンナサイ)  
 今回も、金井さんがコーンポタージュを持ってきてくれて美味しく頂きました。

